

二匹の牝犬 (1964)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1964/03/12

公開情報 東映

【解説】

渡辺祐介が下飯坂菊馬とともに書いた脚本を映画化。渡辺宙明が音楽を担当した。

朝子は売春婦からトルコ嬢に転身し、人気ナンバーワンの座を勝ち取っていた。さらに稼いだ金で株を買い、300万円ためたらトルコ嬢から足を洗おうと考えていた。朝子は自分を担当する証券マンの関根に心惹かれており、彼との結婚を夢見ている。ある日、朝子のアパートに異母妹の夏子が現れた。父親が女を作ったので家にいられなくなっただけで、朝子は夏子を置いてやることにするが、夏子はあっさり売春婦になってしまった。しかも朝子の留守中、夏子は関根と関係を持ってしまった。持っていた株が暴落したため、朝子は金も男も夢も一度に失ってしまった。

【クレジット】

監督 渡辺祐介

企画 岡田茂

脚本 下飯坂菊馬

渡辺祐介

撮影 西川庄衛

美術 森幹男

音楽 渡辺宙明

出演 小川真由美

杉浦直樹

緑魔子

宮園純子

北原しげみ

沢村貞子

若水ヤエ子

本山可久子

新井茂子

青木千里